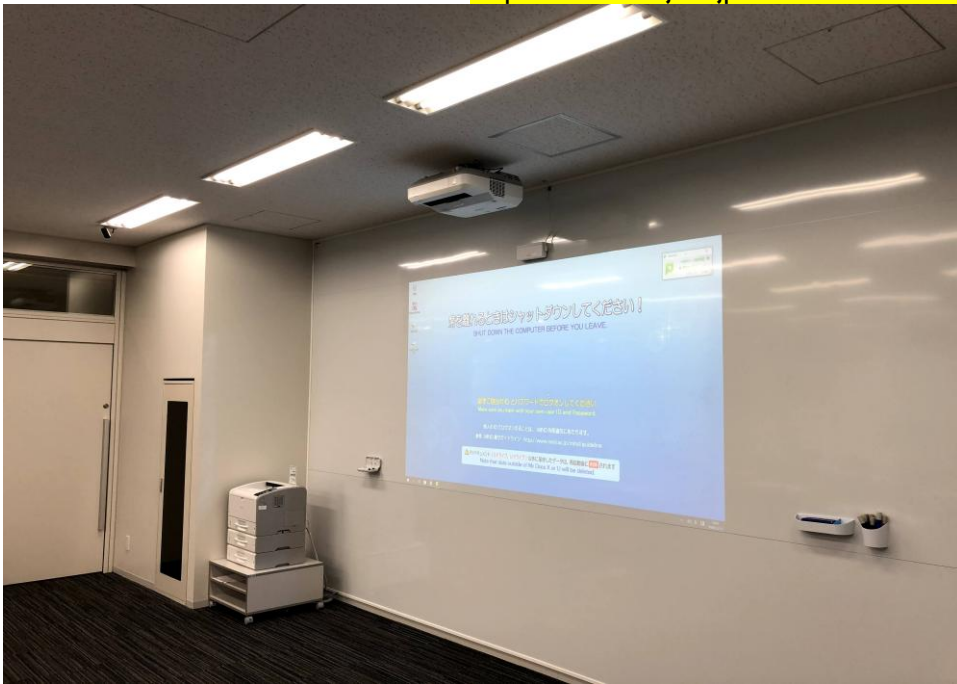


204教室 電子黒板 操作マニュアル

お問い合わせ先： 中野サポートデスク (内線 8072)
(外線 03-5343-8072)

中野メディアサービスホームページのメディア教室紹介ページからマニュアルがダウンロードできます。

<https://www.meiji.ac.jp/nksd/room/classroom204.html>

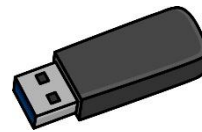


電子黒板に常設**PC**の映像を使う
(PowerPointのペン機能利用)



P1へ

USBメモリーの画像、映像を使う



P3へ

ペン機能を使う
(ホワイトボードを使用する)



P5へ

電子黒板、ペン機能一覧



P6へ

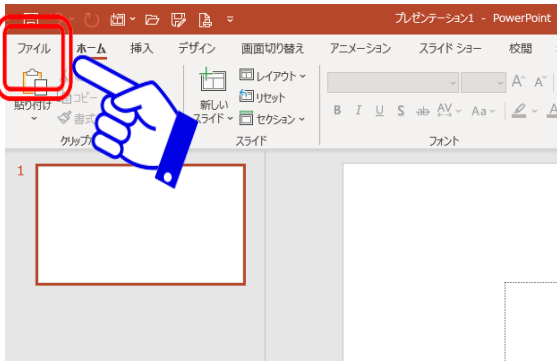
電子黒板使用後は、ペン(オレンジ色と青色)を元の場所に収納してください。



電子黒板に常設PCの映像を使う (PowerPointの設定)

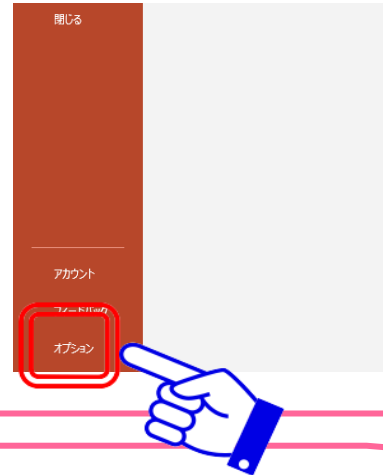
1

ファイルを選択



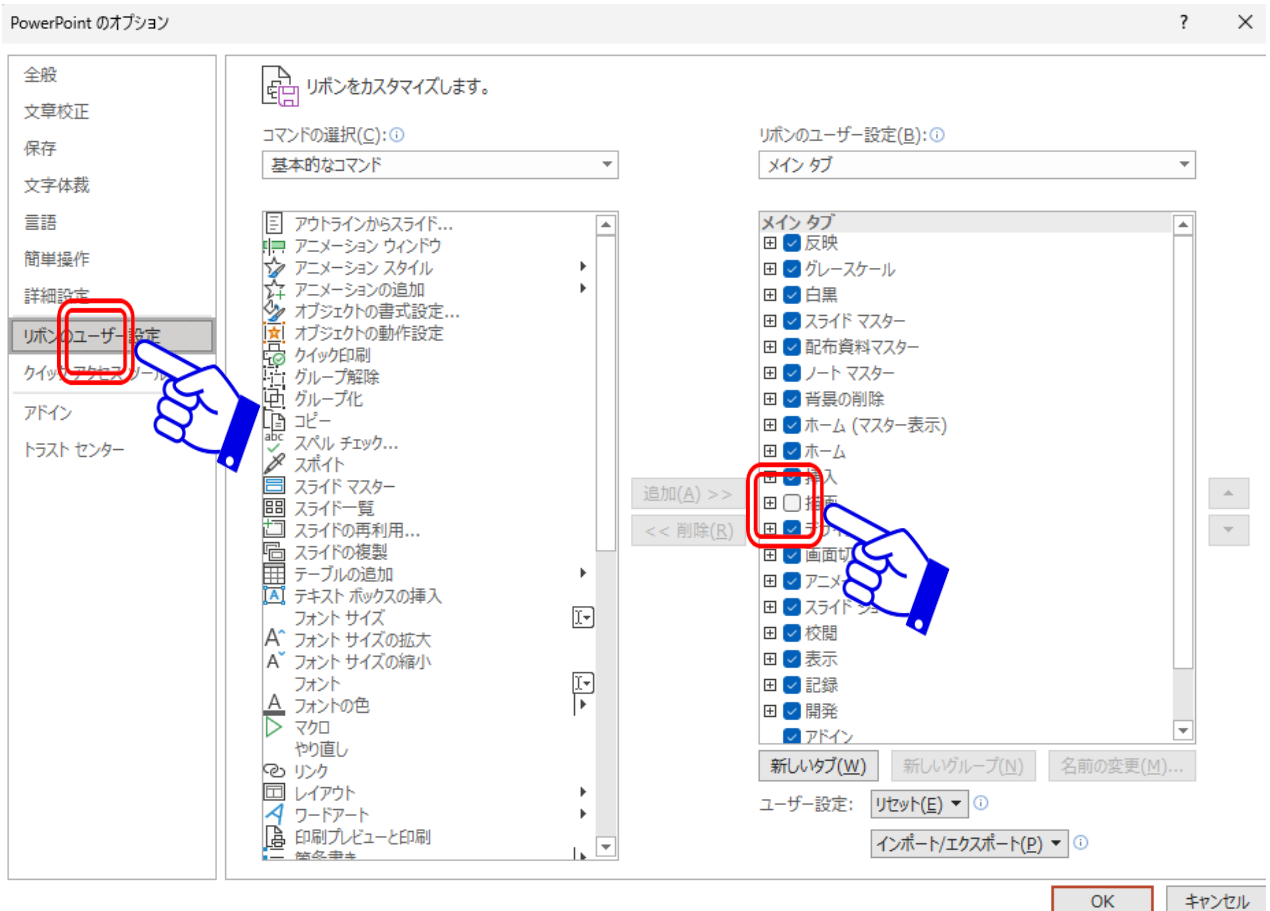
2

オプションを選択



3

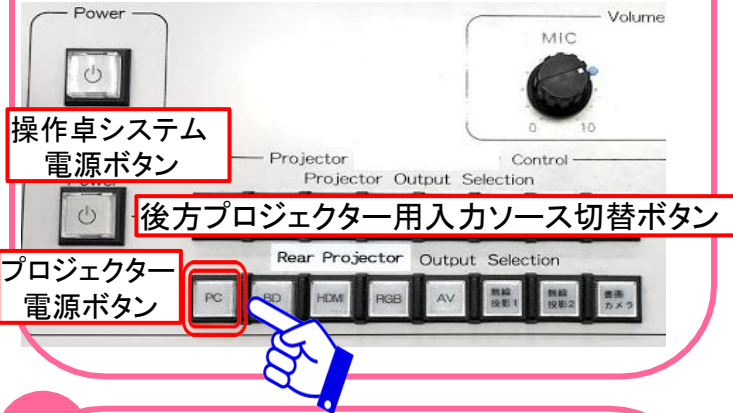
リボンのユーザー設定 → 描画を選択



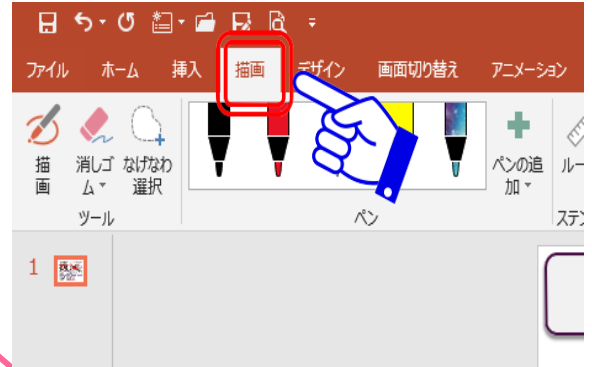


電子黒板に常設PCの映像を使う (PowerPointのペン機能利用)

- 1 操作卓とプロジェクターの電源をONにします。後方プロジェクターの入カソースに[PC]を選択



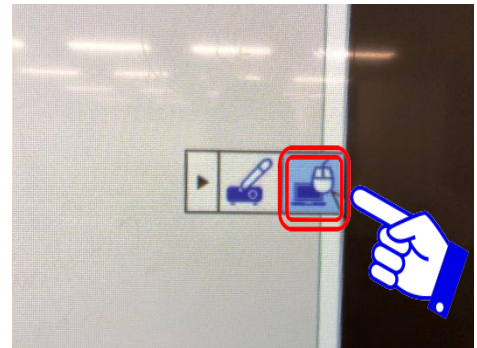
- 2 常設PCで[PowerPoint]を起動後、[描画]タブを選択をクリックします。



- 3 電子黒板の左側に設置してある[ペン]を取り出します。

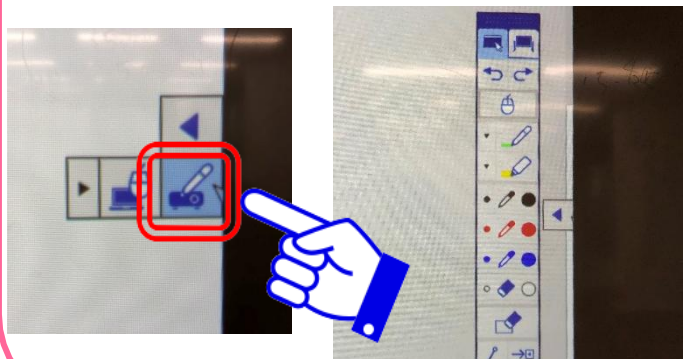
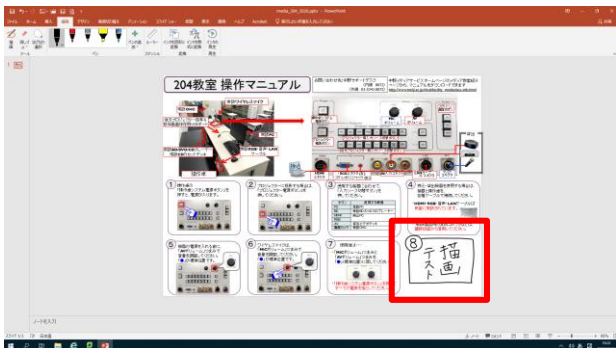


- 4 電子黒板に右側にある[ペン]アイコンを[ペン]でタッチします。



- 5 [マウス機能]で描画することによりPC上に保存して描画を残すことができます。

- [ペン機能]を選択して描画は可能ですが、スライドには描画は保存できません。



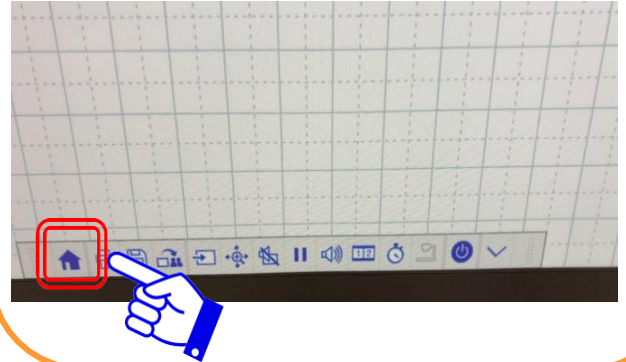


USBメモリーの画像、映像を使う

- 1 操作卓に設置してある[USBメモリ]差し込み口にUSBを差し込みます。



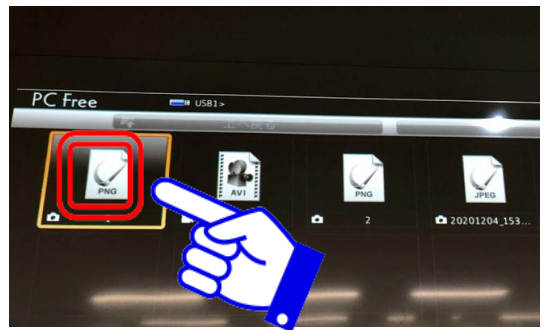
- 2 電子黒板の左側に設置してある、専用ペンで[ホーム]アイコンを選択します。



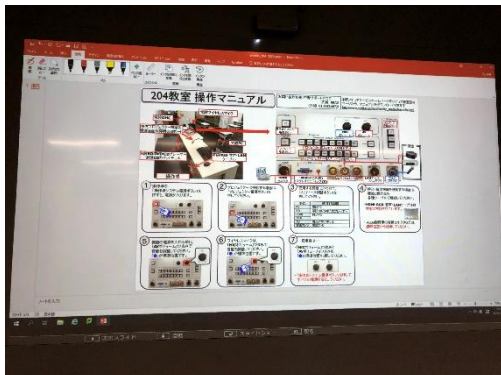
- 3 入力ソースの[USB1]をタッチして選択します。



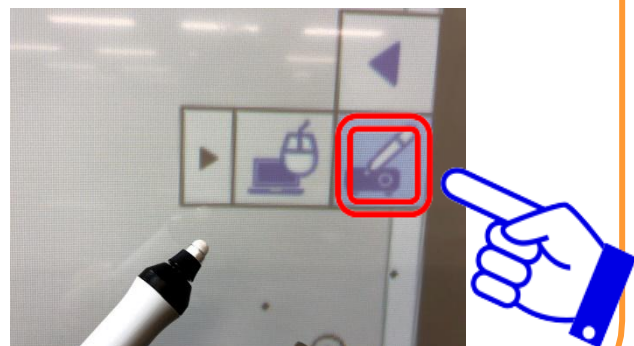
- 4 表示されたUSBメモリーのデータをタッチして選択します。



- 5 選択した画像または映像が表示されたことを確認してください。



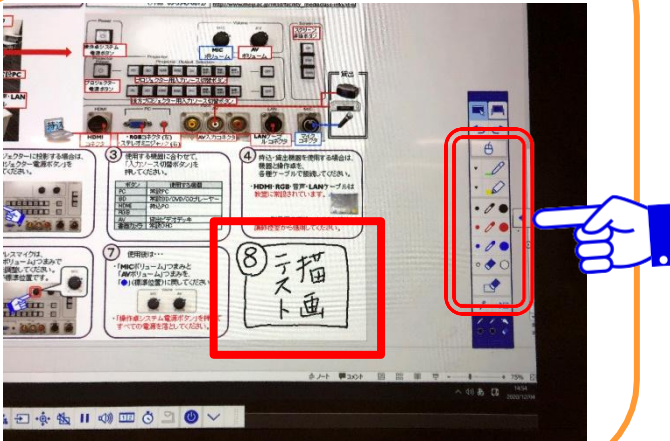
- 6 両サイドのスペースをタッチします。
[ペン機能]を選択してください





USBメモリーの画像、映像を使う & 保存

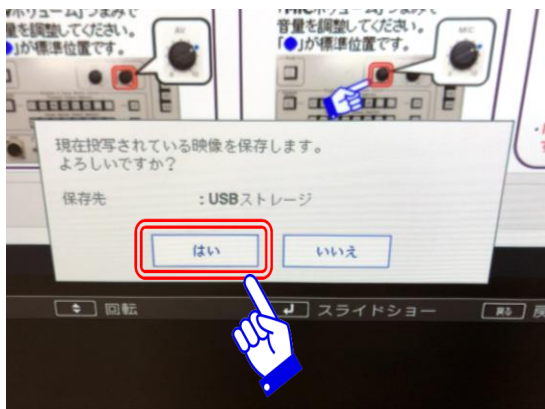
7 ペン機能を利用して描画できます。



8 描画した画像を保存します。
[保存]を選択します。



9 [はい]を選択します。



※サポートファイル形式(以下のファイルを投写できます)

- ・FAT16/32でフォーマットされたUSB機器にファイルを保存してください。
- ・Windows以外のファイルシステムでフォーマットしたUSB機器で投写に問題がある時は、Windowsでフォーマットしてください。

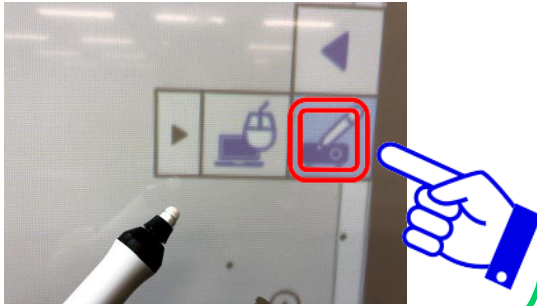
10 使用後はUSBメモリの取り忘れにご注意ください！



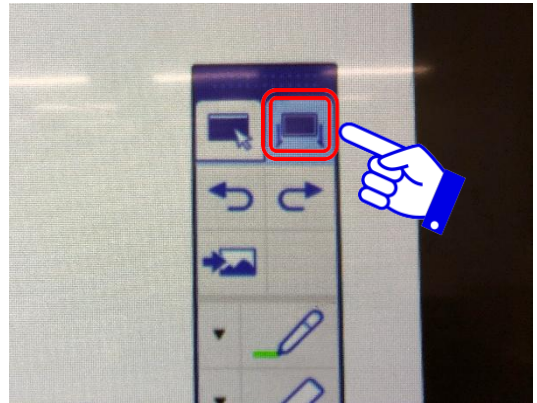
ファイルの内容	ファイルタイプ(拡張子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 ・CMYK形式 ・プログレッシブ形式 ・高圧縮 ・解像度が8192×8192を超えるファイル
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 ・解像度が1280×800を超えるファイル
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 ・解像度が1280×800を超えるファイル ・アニメーションファイル
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 ・解像度が1920×1200を超えるファイル
動画	.avi (Motion JPEGのみ)	AVI 1.0のみ投写できます。 以下のファイル形式は投写できません。 ・PCM、ADPCM以外の音声コーデックで保存されたファイル ・サイズが2GBを超えるファイル

ペン機能を使う(ホワイトボードを使用する)

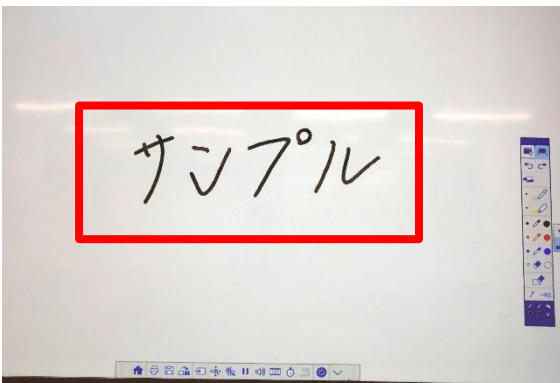
1 電子黒板の左右に表示されたアイコンの[マウス操作]から[ペン機能]に切り替えます。



2 メニューバーから[ホワイトボード(左)]を選択します。



3 ホワイトボードに描画後、USBメモリーに保存可能です。



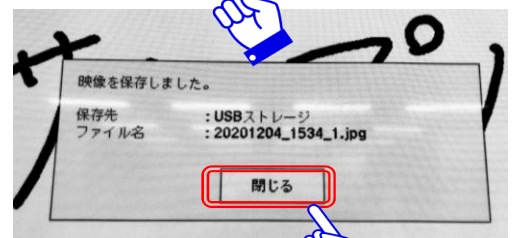
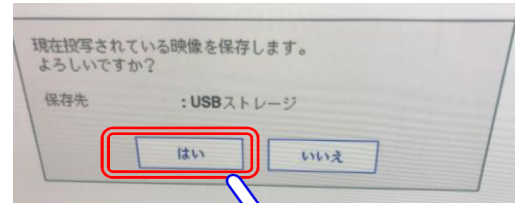
4 操作卓に設置してある[USBメモリ]差し込み口にUSBを差し込みます。



5 描画した画像を保存します。
[保存]を選択します。



6 [はい]を選択します。保存されたことを確認してください。



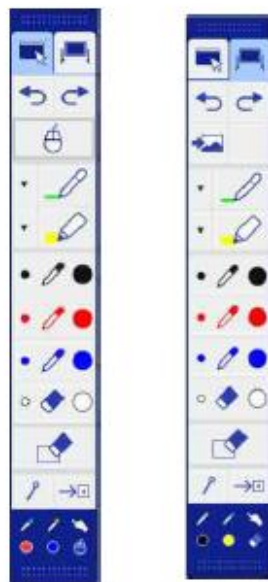
ペン機能等については、最終ページをご覧ください



ペン機能一覧

ツールバーを使うと、投写画面に描画できます。アノテーションモードとホワイトボードモードを簡単に切り替えることもできます。

以下のイラストでは、左側にアノテーションモードのツールバーを、右側にホワイトボードモードのツールバーを示しています。



	アノテーションモードに切り替えます。 (入力している機器の画面を表示させます)
	ホワイトボードモードに切り替えます。
	1つ前の操作を元に戻します。
	元に戻す操作をキャンセルして、元に戻す前の状態にします。
	マウス操作に切り替えます。
	あらかじめ用意された6種類の背景パターンから、ホワイトボードの背景を選択できます。
	フリーハンドで描けるペンに切り替わります。 アイコンの左端にある をクリックすると、ペンの色と太さを設定できます。
	半透明の線を描ける蛍光ペンに切り替わります。 アイコンの左端にある をクリックすると、蛍光ペンの色と太さを設定できます。
	黒色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。

	赤色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	青色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	消しゴムに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い消しゴム、左側をクリックすると細い消しゴムになります。
	描画した内容をすべて消去します。
	描画中にツールバーの表示/非表示を切り替えます。 : 非表示 : 常に表示
	ツールバーを閉じます。
	インタラクティブペン や指 で使用中の機能を表示します。 : ペン使用中。アイコンの色は使用中のペンの色によって変わります。 : 消しゴム使用中。 : マウス操作中。



電子黒板(メニューバー)機能一覧

下段ツールバー (プロジェクター制御)

下段ツールバーを使って、投写画面の印刷や保存、プロジェクターの操作ができます。



	ホーム画面を表示します。
	投写画面を印刷します。 HDCPで保護されたコンテンツは印刷できません。
	投写画面の内容を、プロジェクターに接続したUSBストレージに保存します。 HDCPで保護されたコンテンツは保存できません。
	現在表示中の画面を、Epson iProjectionを使って共有します。 HDCPで保護されたコンテンツは配信できません。
	入力ソースの一覧から投写する入力ソースを選択します。入力ソース一覧を非表示にするには、上部にある アイコンを選択します。
	投写映像を拡大/縮小します。
	映像と音声を一時的に遮断します。再開するには、投写画面をペンか指で押してください。
	映像を一時停止します。
	音量を調整します。
	2画面投写に切り替えます。2画面投写中に選択すると、2画面投写でインタラクティブ機能を使うための詳細な設定ができます。
	タイマーを表示します。

	書画カメラ操作用のツールバーを表示します。以下の操作が可能です。 使用できる機能は、お使いの書画カメラの機種によって異なります。 AF : ピント自動調整 : 映像の一時停止 : 映像の拡大、縮小 : 映像の180°回転 : 静止画の撮影 : 動画の録画 : 動画の再生 : ツールバーの終了
	本機の電源をオフにします。
	下段ツールバーを閉じます。